

用語の定義

1 就業継続

第1回調査以降、「仕事をしている」と継続して回答している状態をいう。

2 離職

「就業継続」していた者が、「仕事をしていない」と初めて回答した場合をいう。

例えば、第3回調査まで「仕事をしている」と回答し続けていた者が、第4回調査で「仕事をしていない」と回答した場合、第4回調査で「離職」が発生したとみなす。

3 生存時間分析

あるイベントの発生パターンとその要因に関する分析手法の総称。生存分析、ハザード分析、期間分析ともいわれる。

4 カプラン・マイヤー法

あるイベントが発生し得る期間の開始から終了までの時間の長さの順にケースをならべ、経過時間ごとにイベントが発生しない確率、つまりは生存率の算出を行い、その生存率の値を掛け合わせることで、経過時間ごとの生存率を求める方法である。

5 離散時間ロジット・モデル

生存時間分析のうち、時間の測定単位が連続的（際限なく細かい）とは仮定できず、離散的（序数的）である場合に利用される分析手法。

6 オッズ比

基準カテゴリに対する相対的なイベントの発生確率を示す。オッズ比が1より値が小さい場合、基準カテゴリよりイベントの発生確率が低く、1より大きいと発生確率が高いことを意味する。

7 健康意識

「健康」

調査日現在の健康状態について、「大変良い」「良い」「どちらかといえば良い」と回答した者をいう。

「不健康」

調査日現在の健康状態について、「大変悪い」「悪い」「どちらかといえば悪い」と回答した者をいう。

8 遷移確率行列

2時点間の状態の変化を示す行列で、ここでは、ある年齢（ t 歳時点）で健康であった人が1年後（ $t+1$ 歳時点）に変化があったかどうかを示す。

個人の属性別に遷移確率行列を作成することで、ある状態であった人がその状態のままである確率や、ある状態から別の状態へと変化する確率を比較することができる。

9 賃貸住宅居住者

賃貸住宅に住んでいる者をいう。社宅等は含まない。

10 固定効果推定

パネルデータを用いた統計分析の手法の一つで、調査においては直接測定されていない個人の効果を統制することができる。